

第6学年 社会科学学習指導案

1 小単元名 「国際連合の働きと日本人の役割 ～ガーナ共和国の〇〇〇さんとともに考える支援のあり方～」

2 小単元の考え方

何のために

本学年の児童は、これまで年表・教科書・副読本・資料集等をもとに、歴史上の出来事や人物について調べてきた。調べてきたことを話し合う中で、事実を読み取り、その出来事が起こった背景や原因について理解することができている。しかし、調べたことをもとにそれぞれの事実によどのような意味があるのか等、自分の考えを持つことが苦手な児童もいる。

そこで自分たちが今生きている世界の問題に目を向けさせ、ガーナの青年海外協力隊の活動を具体的に探ることを通して、国連の働きや日本の国際貢献について考えていくようにしたい。また、日本の国際貢献の在り方について価値判断を迫り、提示物を使って自分の考えを説明していく中で、考える力をつけさせていきたい。

何を

本小単元は、私たちが今生きている世界の様々な問題に目を向け、国際社会における我が国の役割について考える学習である。そこで、以下のような理由から、国際協力の中でガーナ共和国での青年海外協力隊の活動を取り上げる。

- ・児童はガーナという国に対し、チョコレート等でその存在を知っているが、抱える課題や日本とのつながりについては理解していない。
- ・現在日本はカカオ豆の約7割をガーナから輸入しており、貿易において関係の深い国である。
- ・ガーナに対する日本の人的貢献には、緊急性を要するものや継続して取り組まなければならないもの等多岐にわたって様々な活動があり、数ある日本の人的国際貢献の中でも中心となる活動が多く含まれている。
- ・ガーナは西アフリカの国々に対する国際協力・支援の中でも拠点の国となっており、治安も安定しているため資料等が収集しやすい。
- ・福岡県にガーナ共和国での支援活動を行ってきた方々が多く住んでおり、実際の体験を直接聞くことができる。ガーナでの具体的な人的支援の内容を知ると共に、それが現地でのどのように役立っているかをより詳しく知ることができる。

どのように

この教材では、まず世界の諸問題及び国際連合の仕組みを学習していく。そして、日本がその組織に参加する国々の中の一つの国として、金銭的な支援及び人的な支援をしている国際貢献の中でも特に後者の人的支援がどのように役立っているのか、青年海外協力隊の活動を通して学習し、その意義を考えさせていく。

「日本の青年海外協力隊は、ガーナでどのような取り組みをしているのか調べよう。」という学習問題①を解決するために、青年海外協力隊の活動について調べていく。その際、グラフや表といった資料に加えてG Tの話聞き、より具体的に活動内容について追求させ、提示物①(ラベル図)にまとめていく。提示物①の作成と説明の活動によって、調べた事実を整理させ事実認識を図る。

次に、学習問題②「日本の青年海外協力隊は、ガーナへの活動の中で、何を中心に取り組みばよいだろうか。」を設定し、「医療」「教育」「生活」の3つの視点から自分の考えをまとめ、提示物②に表現させる。さらに提示物②を使って互いに話し合わせ、自分の考えを伝えたり、友達の考えと比較したりする。提示物②の作成と説明の活動を通して、自分の考えを付加・修正していく中で、考える力が身についていくと考える。

こんな提示物で

○ 提示物①（ラベル図）

めあて

ガーナに行った青年海外協力隊員の人たちは、どのような仕事をしているのか調べよう。

<教育>

就学率の向上

ルールの指導

理科・算数教育の
充実

先生の指導力の向
上

<医療>

医師の派遣と指
導力の向上

エイズの指導

病気の予防

衛生面の向上

<生活>

技術指導

ルールの指導

仕事の安定化

生活レベルの向上

まとめ

子どもの就学率の向上や教育の充実のために、学校の決まりを守ることや先生の育成に取り組んでいる。

まとめ

医師や看護師を派遣し、マラリア等の病気の治療や、病気の予防のため衛生向上に取り組んでいる。

まとめ

技術指導等の職業訓練を行い、仕事の安定化を図っている。また、生活の向上のために様々な技術も教えている。

○ 提示物②（考えを表現した図）

学習問題

日本の青年海外協力隊は、ガーナへの活動の中で、何を中心に取り組みばよいだろうか。

教育

提示物 A

学習問題

就学率
の向上

ルール
の指導

先生の
指導力
の向上

自分の考え

教育はこれから永くガーナの人のためになる！

医療

提示物 B

学習問題

医師の
派遣

エイズ
の指導

衛生の
向上

自分の考え

一刻を争うのは医療だと思ふ！

生活

提示物 C

学習問題

技術指
導

ルール
の指導

仕事の
安定化

自分の考え

毎日の生活が基本だから生活の向上が大事だ！

○ 提示物の意図

提示物①をもとに、学習問題に対する自分の考えとその根拠となる内容をまとめた提示物②を作成する。自分の考えについて、ガーナの課題を示しながら、根拠を掲示資料等を使って具体的に筋道たてて説明する活動を行う。考えの根拠となる事実は、なるべく短いキーワードのみ書くようにし、友達が見てもわかりやすいものにする。

こんな目標と指導計画で

3 小単元の目標と指導計画（全16時間）

- 学ぶ意欲・態度
 - ・地球上に存在する諸問題に関心を持ち、それらを「国」の立場から解決する方途について考えようとする意欲をもつことができる。
- 問題を解決する力
 - ・国際社会の様々な課題と日本のかかわりの様子から、学習問題をつくることができる。
(課題を発見する力)
 - ・グラフ・地図資料での調べ学習や、青年海外協力隊を経験した方からの聞き取りを通して、日本の援助活動や民間の援助活動等について追究することができる。
(調べる力)
 - ・世界における諸問題の実情をもとに、平和な国際社会を実現していくための、日本の役割について考えることができる。
(考える力)
 - ・ガーナ共和国の課題解決に向けての青年海外協力隊の取り組みの内容を表現物に示し、資料を用いて根拠を明らかにしながら自分の意見を述べるができる。
(表現する力)
- 生きて働く知識（見方・考え方）
 - ・日本は、国際社会の一員としての役割を果たしていくことで、世界の平和と発展に大きくかかわることができる。

段階	配時	学習活動と内容	指導・支援
つ か む	6	1 世界に目を向け、国際社会における諸問題について知る。 ① (1) 提示された写真から、世界の中でどのような問題が起こっているのかを話し合う。 ○環境破壊 ○戦争・紛争 ○飢え・貧困 ○衛生・医療 ○労働・教育 ○子ども 等 (2) それぞれの問題が、主にどこで起きているのかを資料で調べ、白地図に色分けする。 (3) 世界中で様々な問題が起きていることについて考えたことをまとめる。 ② 2 国際社会における諸問題に取り組む国際連合のはたらきや、青年海外協力隊の活動について調べる。 (1) 国際連合のはたらきについて調べる。 (2) 青年海外協力隊の活動内容について調べ、活動国を白地図に色付けする。 (3) 他国の問題に、日本はお金を出すだけではなく、人が派遣されている事実について知る。 3 アフリカ大陸にあるガーナ共和国の課題を知り資料からその原因について予想する。 (1) G T の話を聞き、ガーナという国について知る。 ・ガーナで有名な物 ・日本とのつながり ・国連とのつながり ・自然、産業、衣食住等の文化、学校の様子 (2) 資料から、ガーナ共和国の課題について知りその原因を予想する。 ① <課題> ①大人の識字率 ②5歳以下の子どもが亡くなる率 ③1日1ドル未満(100円程度)の生活者 ① <予想> 「教育」・学校が少ないのではないか。 「医療」・病院が少ないのではないか。 「生活」・働く場所が少ないのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な知識の習得を図るために写真や地図の資料を関連させながら見せるようにする。 ○ 世界の様々な問題と自分の生活との関わりに気付かせるために、今の日本の問題と比較して考えるようにする。 ○ 基礎的な知識の習得を図るために教科書や資料から、国際連合のはたらきや、青年海外協力隊の活動内容・活動地域等を調べさせる。 ○ 青年海外協力隊員の仕事やその活動に目を向けさせるために、青年海外協力隊の活動内容がわかる資料を提示する。 ○ より身近な問題として児童にとらえさせるために、ガーナと日本とのつながりを中心にガーナという国の概略についてG Tに話をしてもらおう。 ○ ガーナの特徴や課題を整理して調べることができるように、写真やグラフ・地図の資料を関連させながら見ていくようにする。

	<p>4 ガーナの課題と国際社会における日本の活動内容をもとに、学習問題をつくる。</p> <p>学習問題①</p> <p>日本の青年海外協力隊は、ガーナでどのような取り組みをしているのか調べよう。</p>	<p>○ 学習問題に対する追究の視点からその原因を予想させる。</p>
さ ぐ る	<p>6 ② 5 インターネットや様々な資料を通して、青年海外協力隊のガーナでどのような取り組みをしているのかを調べる。</p> <p>③ 6 青年海外協力隊員としてガーナ共和国で支援活動をしていた方々から、日本の青年海外協力隊がどのような活動をしているのかを聞き取り、提示物①（ラベル図）に表す。</p> <p>(1) アフリカのガーナやその他の国で支援活動がされた、元青年海外協力隊員の方からガーナの実情や支援の話聞いて、めあての答えを探り、提示物①（ラベル図）に表す。</p> <p>「教育」 ○ 理数科教育 ○ 体育教育 「医療」 ○ エイズ・保健指導 「生活」 ○ かまどの普及活動他 ○ 職業訓練</p> <p>① (2) 二人組で提示物①の話し合いを行い、付加・修正をする。 説明の活動①</p> <p>① 7 提示物①をもとにした全体交流を行い、学習問題①の答えを探る。 説明の活動②</p>	<p>○ 人的貢献の内容についてより具体的に児童に理解させるために、ガーナでの青年海外協力隊の活動に目を向けさせる。</p> <p>○ 自分の考えを深めさせるために、GTから「課題の現状」「具体的な取組」を聞く。</p> <p>○ 互いの考えを理解し、事実認識を明確にするために、考えの根拠となる資料を示しながら自分の提示物①をつかって話し合わせる。</p> <p>○ 学習問題の答えの事実について理解を深めるために、事実同士のつながりについて着目して吟味させる。</p>
ま と め る	<p>① 8 学習問題②を設定し、提示物①をもとに自分の考えを示す提示物②を作成する。</p> <p>学習問題②</p> <p>日本の青年海外協力隊は、ガーナへの活動の中で何を中心に取り組めばよいだろうか。</p> <p>① 9 提示物②を使い、学習問題に対する考えを説明し、その根拠の妥当性やよさについて話し合う。 説明の活動③</p> <p>(1) 提示物を使った、代表児の発表を聞く。 (2) 友達の考えと自分の考えの共通点や相違点に目を向け、自分の考えを見直し、考えの交流を行う。 (3) JICAの〇〇さんやガーナ共和国の〇〇〇さんに、これからの協力のあり方についての助言をもらう。 (4) 学習を振り返り、自分自身の考えをまとめる。</p> <p>10 日本が、国連や青年海外協力隊等を通じて、世界各国に協力していることの意義を考える。</p> <p>現在世界中には環境や貧困等様々な問題が存在している。それらの解決のため日本の果たす役割は大きい。これからも世界の国や人々と協力し、問題を解決していかななくてはならないと思う。</p>	<p>○ 自分の考えを明確にするために、提示物②の表現方法を示し、その流れに沿って作成させる。</p> <p>○ 学習問題②の答えを考えさせるために、提示物②をもとに、自分の考えを説明させる。</p> <p>○ 自分の考えを見直すために、自分の考えと友達の考えとの違いを比べたり関連させたりして聞くようにさせる。</p> <p>○ 事実認識や関係認識を確かにするために、話し合いの中でわからないこと等GTに随時助言をもらうようにする。</p> <p>○ 多面的な見方ができるように、世界の中で日本はどう協力していくべきか、世界中で起きている様々な課題と結びつけて考えていくようにする。</p>

4 本時A 提示物②をつかった説明の活動③ (15 / 16)

5 本時の目標

- ガーナ共和国における日本の役割について友達のを自分の考えと比べながら聞き、比較・検討することによって、自分の考えを見直すことができる。

6 本時指導の考え方

児童は前時までにはガーナでの青年海外協力隊の取り組みについて「教育」「医療」「生活」という視点で事実認識を深め、様々な分野で貢献していることを調べている。さらに学習問題②「日本の青年海外協力隊は、ガーナへの活動の中で何を中心に組み組めばよいだろうか。」について、答えとなる自分の考えを提示物②にまとめている。

本時は、代表児に提示物②を使って自分の考えを説明させ、それぞれの考えを交流し合う説明の活動を行わせる。友達のを聞き、新たな考えを受け入れたり自分の考えを振り返って見直したりすることで、児童の青年海外協力隊の活動に対する認識をさらに深め、ガーナ共和国における日本の役割について考えさせたい。また、GTとしてJICAの〇〇さんとガーナ共和国の留学生である〇〇〇さんに話し合いを聞いてもらうようにする。話し合いの中で疑問に思うところや確認していくべき内容について助言してもらい事実認識や関係認識をさらに確かなものにしていく。学習の最後にGTから話し合いに対して感想を聞き、日本の役割についての考えをさらに深めさせたい。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとる。

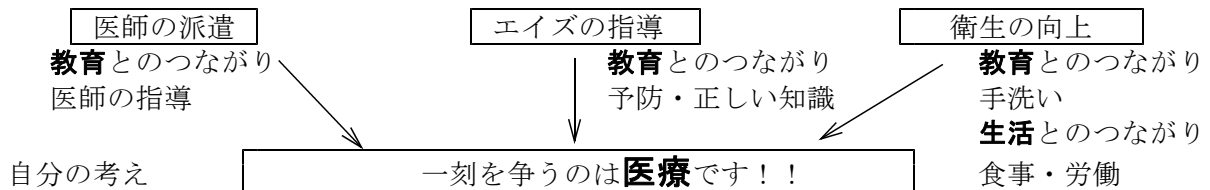
(1) 提示物②

児童は学習問題②の答えに対する自分の考えをわかりやすく伝えるために、提示物②を使って説明の活動を行う。提示物②では、調べた3つの視点である「教育」「医療」「生活」の中で、ガーナでの活動の中心と考えるものを決め、その根拠となる事実から答えとなる考えが表現されている。

医療を選んだ代表児の提示物②の中に、付け加えや教育・生活とのつながりを書き加えていく。

学習問題

日本の青年海外協力隊は、ガーナへの活動の中で、何を中心に組み組めばよいだろうか



〈医療を選んだ児童の考え〉

私は医療を優先すべきだと思います。それは、まずガーナには今現在でもけがや病気に苦しんでる人が多くいて、それに比べると医師の数が不足しているからです。次にこのグラフを見てください。エイズやマラリアといった病気で亡くなる人が日本よりたくさんいます。実際に衛生に気をつけることによって多くの病気を減らすことができます。この資料からも水源や衛生設備も改善することにより、継続して使うことができているのがわかります。私は尊い命を守るために優先すべきなのは医療だと考えました。

(2) 交流の工夫

- 「医療」を中心に行うべきと考えた児童に提示物②を使ってまず説明させ、その後「教育」を選んだ児童に提示物を使って説明させる。2つの異なった考えを自分の提示物と比べながら共通する点や関連があるところ等を考えさせる。また、「労働」とのつながりについても考えていく中で、自分の考えに付加・修正させていく。
- 交流活動では、自分の考えが明確になるように、同質グループの者同士が近くにすわり互いの考えを聞くことができるようにする。
- 説明の活動③で、青年海外協力隊の方やガーナの留学生を交えることで、事実の確認や学習の価値付けをしていく。
- 交流活動では、自分の考えの根拠となる事実が示せるように、学習環境としてそれまでの学習で活用した写真・グラフ・資料等を掲示し、すぐに提示できるようにする。

7 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援
<p>1 本時のめあてと交流の進め方を確認する。 (1) 全員で学習のめあてを読んで確かめる。 学習問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>日本の青年海外協力隊は、ガーナへの活動の中で何を中心に取り組めばよいだろうか</p> </div> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題の答えについて考えを交流し、友達の考えと比べながら自分の考えを見直そう。</p> </div> <p>(2) 説明の活動の進め方を聞き、確認する。 ① 代表児から発表し、同じグループのメンバーが付け加える。 ② 質問や意見等自分の考えを発表する。</p> <p>2 提示物と資料を使って、学習問題の答えについて説明し、考えを交流する。 ○ 医療を中心に組み込んだ方がいい。それは、命はとても大切で、小さい子が多く亡くなっている現実があるからです。 ○ 教育を中心に活動した方がいい。なぜなら教育は青年海外協力隊がいなくなっても、続けることができ、ガーナの人々にとって役に立つからです。 ○ 生活が大切だと思う。そのわけは、教育も医療も毎日の暮らしが基本でその上に成り立っていると考えるからです。</p> <p>3 GTの話聞き、自分の考えの見直しをする。 ○ 青年海外協力隊の〇〇さんやガーナ共和国の〇〇〇さんに話し合いを聞いていただいた感想と、実際に学習で話し合ってきた3つの視点の大切さについて話を聞く。</p> <p>4 みんなの意見やGTの助言を聞いて、自分の考えを振り返る。 (1) 見直した自分の考えを「今日の学習で」にまとめる。 (2) まとめた考えを発表する。 まとめ</p>	<p>○ 自分の考えの根拠を示したり、互いの考えがより理解しやすくするために、これまでの学習で使用してきた資料を掲示し、振り返ることができるようにしておく。</p> <p>○ 学習の見直しをもたせるために、説明の活動の進め方を掲示しておく。</p> <p>○ 自分の考えをわかりやすく筋道だてて説明できるように、掲示した資料を指し示しながら説明させる。</p> <p>○ 友達の考えを理解し自分の考えを明確にさせるために、机の上に自分の提示物を置き、友達の考えの良さや自分の考えとの違いに目を向け聞くようにさせる。</p> <p>○ 話し合いの焦点化を図るために、まず「医療」を選んだ児童に提示物を使って説明させ、次に「教育」についての説明をさせる。2つの意見を比べて話し合う中で、「生活」を選んだ児童の意見も出すようにする。</p> <p>○ 自分の考えの価値付けをするために、GTから3つの視点の大切さについて話をしてもらおう。その際に青年海外協力隊の派遣実績の資料を提示し、教育・保守操作・農林水産・土木建築・保健衛生等の協力ができていることを確認させる。</p> <p>○ 友達の考えのよさや自分の考えの変容に気付かせるために、本時交流の初めと交流後の自分の考えを比べて書くようにさせる。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>私は、最初は、医療が一番大事だと思っていました。それは、ガーナではエイズのことを知らずにエイズにかかり、若くして亡くなる人も多いということを知ったからです。 その考えは今でも変わらないけど、それだけではないんだなと今は思っています。 〇〇さんやみんなの話を聞いて考えたことは、医療の問題は急ぐ必要があることが多いという意味で大切ですが、もっと予防の方法について知ること、病気の広がりを押さえることができるということです。それに、医療にかかる費用が払えるようになるためには、ある程度の収入も必要です。だから、そうした仕事ができるだけの教育が根本的に大切だと思います。また、医療の中でも教えていくことは多く、教育とつながりがあることもわかりました。 私は、ガーナが将来自立して自分達の力で課題を解決していくためには、長期的な視野に立って、『教育を優先した方がよい』という考えが強くなりました。</p> </div>	